

学校通信10月

自由が丘東小だより

第6号

令和8年10月1日

三木市立自由が丘東小学校

「大切にすること」と「大切にされること」

本校では9月に、親子人権学習とPTA人権講演会を実施しています。

これは、「だれもがかけがえのない存在であり、一人一人の人権を尊重することの大切さを親子で学び、考えること」をねらいとしています。

子どもたちは、各学級・学年での学習や日々の生活を通して、「人権」について学び、「人を大切にすることはどういうことか」を考えてきました。

「自分がされてうれしいこと、言われてうれしいこと」「友だちや自分が安心して過ごすためにできること」など、一人一人が自分なりの思いを深めることができました。

親子人権学習当日にはたくさんの保護者の方に学習参加・参観いただき、ありがとうございました。

子どもたちと一緒に考えたり話し合ったりする時間をもつことで、ご家庭でも「人権」について考えるきっかけにいただけたことと思います。

もちろん人権について考えることは、特別な期間だけにするものではありません。

いつもだれかと関わりながら日々の生活を送っている中で、相手と意見がぶつかったり、けんかをしたり、相手の言葉に傷ついたり、相手を傷つけてしまったりすることもあります。

そんなときには、「自分はどうだったかな」「相手はどう感じたかな」「自分には何ができるかな」と、立ち止まって考え、相手を理解しようとする人になってほしいです。

困っている人に声をかける、相手の気持ちを想像する、違いを認める、こうした一つ一つを積み重ねていき、人との関わり方を学んでいってほしいです。



人を大切にするためには、まず、自分自身が大切にされていると感じられることが大切です。

「話を聞いてもらえた」「失敗しても大丈夫と言ってもらえた」「自分のことを認めてもらえた」、そんな経験が、今度はだれかを大切にできるやさしさにつながっていきます。

PTA人権講演会「いのちのおはなし」の中で、講師のなおり助産院の寺尾様が、「赤ちゃんを見ると、だれもが幸せな気持ちになって、笑顔になるんです。あなたたちも、そんな幸せを運んでくれた存在なのですよ。」と話してくださいました。

自身の出産時を思い出しながら、目の前にいる子どもたちの出産時のことを想像しながら、涙があふれそうになり、そんな大切な子どもたちをお預かりしているのだと、改めて気の引き締まる思いがしました。

これからも、学校生活の中で子どもたちが「自分は大切にされている」と感じるとともに、「友だちも大切にしたい」と思えるような温かな関係を育んでいきます。

一人一人がかけがえのない存在として認められ、互いを尊重しながら、自分らしく安心して過ごせる学校を、子どもたち、保護者・地域の皆様、教職員ととともに、一層つくっていきたいです。

ご家庭におかれましても、親子で過ごす何気ない会話の中で、「うれしかったこと」「困ったこと」「友だちにしてもらってうれしかったこと」などを話題にいただければと思います。

日々の生活の中で「自分や友だちの大切さ」について話す時間をもっていただければ幸いです。

これからも、自分もまわりも大切にできる子どもたちであってほしいと願っています。

学校長